






Ⅻ 令和4年度に行う試験研究課題と関連事業

安全で資源循環利用による健全な森林育成、低コスト林業の推進、県産材の加工利用技術の開発等に関わる試験研究等を行う。

試験研究項目・課題名	予算額 (千円)	財源	研究 期間	研究内容
1 健全で豊かな森林づくりに関する研究				
(1) 鳥取県でのカラマツの育苗・植栽技術の確立 	619	県	R1～R4	カラマツを鳥取県の新たな造林樹種とするため、育苗試験、植栽適地の調査、さらに、シカ食害実態調査と忌避剤の効果検証試験を行う。
(2) 原木シイタケの虫害に関する研究 	687	県	R2～R4	シイタケオオヒロズコガ類成虫の捕獲方法及びシイタケ子実体からの幼虫除去方法の検討・開発並びに生息実態を解明する。
(3) 山地災害リスクを考慮した適正な作業システムの選定技術の確立 	595	県	R3～R6	森林施業による山地災害のリスクを抑制するため、車両系・架線系等の作業システムや作業ポイントの選択・設定手法を検討・開発する。
(4) 再造林の推進に向けたコンテナ苗の通年植栽試験 	527	県	R3～R6	再造林の低コスト化を推進するため、皆伐地拵え作業と一貫での造林が可能なコンテナ苗について、植栽可能時期や好適条件を明らかにする。
(5) 山地災害リスクを考慮した森林整備手法の検討 	779	県	R4～R6	斜面崩壊防止に重要な役割をはたしている「要木」の保全・育成方法について検討し、災害リスクの高い場所での土砂移動抑制効果を維持した効率的な森林整備方法を確立する。
(6) ナラ枯れ跡地における更新に関する研究 	919	県	R4～R6	過去のナラ枯れ跡地の植生状況を調査することで、ナラ枯れ跡地の健全な森林への回復判定指標を作成する。
(7) 無花粉スギ等の着花特性等調査 	220	国 (受託)	R3～R6	林業試験場が開発した無花粉スギ等の着花特性調査及び種子生産特性調査を行う。
(8) 山地災害リスクを考慮した森林路網整備に関する研究 	150	国 (受託)	R4～R6	国土保全と林業振興の両立を実現させるため、山地災害リスクと経済性を考慮した路網評価に関する研究を行う。
小 計	4,496			

試験研究項目・課題名	予算額 (千円)	財源	研究 期間	研究内容
2 県産材の利用拡大に関する研究				
(1) 県産材の建築用途を広げるJAS規格材の利用技術に関する研究 	977	県	R2～R6	県内で生産されるJAS規格材について、市場で入手しやすい寸法での材料品質及び接合性能を明らかにし、製材品生産や建築設計に必要な基礎資料を得る。
(2) 樹齢に応じた「県産スギ材の良さ」に関する研究 	633	県	R2～R6	適材適所での利活用の推進による県産スギ材の付加価値販売を目標に、県産スギ材の樹齢に応じた材質特性(良さ)を数値的に明らかにする。
(3) 燃料チップの地域内安定供給体制整備のための研究 	736	県	R2～R4	地域内資源を有効活用する若桜町のモデル的な取り組み(地域エコシステム)を支援するため、チップ原木の水管理の手法と、価格設定に役立つ簡易な含水率判定手法を確立する。
(4) CLTのラミナの乾燥品質向上に係る研究 	1,249	県	R4～R8	CLTを構成する素材であるラミナ(挽き板)の品質向上と県産CLTの普及を拡大させるため、ラミナの乾燥技術の確立を図る。
(5) 鳥取県内に造林されたカラマツの育成状況と材質に関する研究 	1,183	県	R4～R7	県内で植栽が進んでいるカラマツの生育に適した環境と材質特性を明らかにすることにより、県内における造林樹種の選択肢の拡大を図る。
小計	4,778			
《試験研究費計》	9,274			
《管理運営費》	19,583			
《施設整備費》	52,295			
合計	81,152			

2 関連事業

事業名	担当者
(1) 林木品種改良事業	玉木 操、池本 省吾
(2) 種苗安定生産対策事業	池本 省吾、玉木 操
(3) 松くい虫防除事業	衣笠 尚義
(4) 酸性雨モニタリング調査委託事業	衣笠 尚義

3 臨時的調査研究事業

生産現場の突発的な技術課題の解決、本格的な試験研究を実施する前の事前調査、研究素材の蓄積や研究員の資質向上等に必要試験研究を、迅速かつ柔軟に実施する。